

季節を詠む、
時流を詠む

四季の歌



美野里短歌クラブ

孫と乗るデイズニーシーのアトラクション 顔は笑えど足震えおり
珈琲が好きな私のお気にいりキリマンジャロでホツと一息
わが庭の皇帝ダリア高々と日々咲きおりぬ晩秋の空
ストーブに煮え立つ豆の音を聴き夜半の静けさセーターを編む
日立紅寒桜咲くニュースあり季節先取る花を見に行く

小川短歌会

たわいなき話に居間は賑やかに遠慮いらすの家族だんらん
戦争の悲惨伝える被爆者のきろく涙して朗読しおり
目はかすみ耳に補聴器杖たより陽だまりえらびヨチヨチ歩く
登校の列の真中の一年生歩幅せわしくあがあんばっている
母のこと三十一文字に詠みたしとことばをさがす朝の炬燵に

玉里短歌会

夕景色ひとり占めする散歩道湖畔の水音筑波の夕焼け
人間は生物として未完なりウィルスに勝つ進化成しえず
梅ふめば縫物しつつか東風吹かばと口遊みし母はるかとなりぬ
枯れ草の中に水仙スクツと立ちたたずめば風春の香りす
お茶が好きコーヒー大好き顔ぢゆうを笑顔に答へし父の思ほゆ

寄稿 (中央高校芸術部)

澄んでいる空気を切って川路歩きふと見下ろすと喜一色
出会った日つばみがひらき桜咲く別れと共に舞い落ちる花

助 德	正 高 野 石 齋	根 幡 佐 中 石	白 碓 宇 菱 菱	白 碓 宇 菱 菱	白 碓 宇 菱 菱
川 永	木 田 口 橋 藤	本 谷 藤 根 田	根 谷 宮 沼 沼	根 谷 宮 沼 沼	根 谷 宮 沼 沼
佳 一	敦 久 初 吉 かつ	智 啓 正 良 は	清 香 和 子 江	清 香 和 子 江	清 香 和 子 江
穂 葉	子 子 江 生 つみ	恵 子 子 正 子 江	香 子 子 子 子	香 子 子 子 子	香 子 子 子 子

みづうみ俳句会

摘むもよし撞くも楽しのよもぎ餅
フェンスに雨後の朝日や名草の芽
亡き友の庭先に咲く花桃か
おとなりの墓にも合掌春日岸
徳川の歴史を偲ぶ梅の園

みのり俳句会

春浅し話そこそこ立ち去りぬ
福寿草春を待つ日々長かろう
草庵の心字の池や紅白梅
あのころのことなつかしき賀状かな
白鳥の首逞しく寄ってきし

櫻の会

尖がる波受話器の向こう冴え返る
梅ふむ太陽を存分に明日や待つ
宝物は小さきがきれい春座敷
ものの芽のやっさもつさと出でにけり
平和とは梅いちりんの白さかな

くるみ俳句会

空の青地には白梅古刹かな
さざ波に光煌めき春の湖
みほとけにすがりて生きて彼岸かな
咲き満ちて梅林浄土となりにけり
借景は紫峰の筑波梅の庭

たまり俳句会

紅梅や風穏やかに光満つ
海峽の光まぶしき瀬戸の春
春爛漫再々演の幕上がる
寄り添ひて何を語らふ母子草
野に山に光溢れて生氣満つ

小美玉川柳会

みならえは町の落書きバンクシー
ボケたこと判って安心われ米寿
満額回答ため込み過ぎの大手さん
春一番妻は不気味な網タイツ
笑い顔百葉よりも効果あり

原 下 大 信 梶	大 矢 小 松 長	福 城 島 信 小	木 井 岡 石 矢	佐 友 塚 立 白	長 長 長 榎 長
重 盛 田 原 原	石 口 玉 田 谷	島 垣 内 田 原	村 坂 島 田 口	藤 水 田 原 澤	島 島 島 本 島
富 悟 食 正 平	貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平
貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平	貴 史 堂 男 平